

21世紀の町政推進の本拠地に 16年度末の完成を目指して新庁舎を起工



役場新庁舎完成予想図



起工式でくわ入れの儀を行う斎藤町長

明和町新庁舎建設工事の起工式が8月8日、南大島・新里地内の建設予定地で行われ、斎藤町長ら関係者約111人が工事の安全を祈願しました。

新庁舎は、屋上の一部に大屋根を設置した外観が特徴で、地上3階建てのシンプルな建物です。1

建設概要

敷地面積 18,096㎡、
構造 鉄筋コンクリート造3階建
庁舎延床面積 4,855.92㎡
附属建物延床面積 484.53㎡
総事業費 約26億円

階は事務室や地域開放ゾーンとして利用する町民プラザ、2階は事務室や会議室、3階は議場や委員会室、会議室などを配置し、2階・3階を吹き抜けにしています。また、使いやすく親しみの持てる庁舎で、経済性に優れ維持管理しやすい建物です。さらに、災害時の防災拠点として耐震強度を高めたほか、太陽光発電システムや雨水貯留ピット、暖気を循環させるエコシャフトを導入するなど環境に配慮しています。

神事の式後、斎藤町長は「21世紀の町政推進の本拠地として町民の皆様が豊かさやゆとりを実感できるようなまちづくりを進めていきます」とあいさつしました。これから本格的な工事に着手し、平成16年度末の完成を目指します。